

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 250

政策体系	41	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	高齢者虐待防止事業				
細事業名	高齢者虐待防止事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	中川 博美

1. 事業の概要

家庭内等における高齢者虐待の防止に向け、関係機関の連携強化を図り、虐待の早期発見や未然防止に努めると共に、高齢者や擁護者に対する相談、指導、助言等を実施する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者が住みなれた地域で、尊厳のある暮らしを送るための事業である。

② 事業を実施する必要性

高齢者虐待防止ネットワーク会議や個別ケア会議の開催等により、保健・医療・福祉等の関係者が連携し、高齢者の安心した生活の確保に努める必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	92	2,253	1,160	53	223	271	271
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	2,161	1,111	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	92	2,253	1,160	53	223	271
職員等の従事人員	人/年	—	0.38	0.40	0.40			
人件費	千円	—	2,835	3,252	3,253			
事業費総額	千円	—	2,926	3,301	3,306			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

高齢者虐待防止ネットワーク会議委員報酬	48,500円（報酬）
事務費	4,560円（需用費）

5. 事業結果の概要

高齢者虐待防止ネットワーク会議 1回開催（3/17）
 ・南丹市地域包括支援センターの活動及び状況について
 ・南丹市と京都府及び国の虐待事例及び状況について

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢者のいる世帯と日常的な関わりのある福祉関係者等との連携により、虐待の未然防止と早期発見、早期対応に努めた。引き続き支援体制の強化に取り組むと共に、認知症等に対する正しい理解の促進など啓発活動にも努めていく必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

高齢者のいる世帯との日常的な関わりの中で、虐待の未然防止をはじめ、早期発見・早期対応を行なった。また、高齢者を取り巻く状況の総合的な相談・支援を行うため、当該委員に法律家や法務局を加えて速やかに対応できるよう体制を強化した。今後も支援体制の強化と、虐待の未然防止に向けて、認知症等に対する正しい理解の促進を図るため、啓発活動についても努めていく。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
虐待の実態や背景について事象と通じて議論をしてきた。
- ②当該事業のアピール事項
虐待ケースは発生した場合に迅速に対応できるようネットワークを構築。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
介護者に認知症等高齢者の状況を正しく理解してもらい、虐待事象を少しでも減少させていきたい。